

(4) 発育状態の世代間比較 (表5、図7、図8)

① 身長

子世代（令和6年度の調査結果）と親世代（30年前の調査結果）の身長を比較してみると、男子は5歳、7歳および15～17歳を除く各年齢で親世代を上回っています。女子は、6～7歳および14～16歳を除く各年齢で親世代を上回るか同等の数値となっています。

また、親世代との差を年齢別にみると、男子は12歳および13歳で1.3cm、女子は11歳で1.5cmが最も大きくなっています。

② 体重

子世代と親世代の体重を比較してみると、男子は5～7歳および15歳～17歳を除く各年齢で親世代を上回っています。女子は5～6歳、8～10歳および14～17歳を除く各年齢で親世代を上回るか同等の数値となっています。

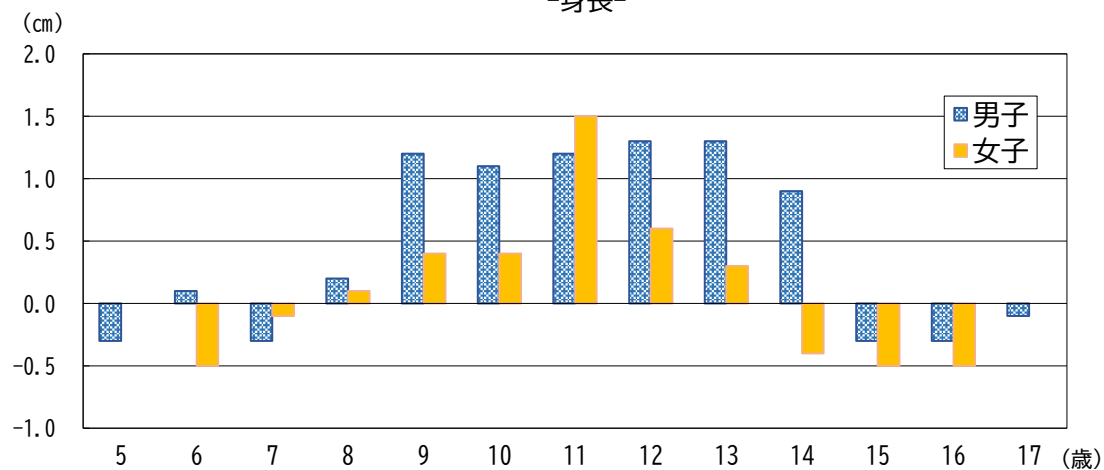
また、親世代との差を年齢別にみると、男子は12歳で1.6kg、女子は15歳で2.7kgが最も大きくなっています。

表5 子世代と親世代の年齢別体格の比較

区分	学校種別	学年	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)		
				令和6年度	平成6年度	差(R6-H6)	令和6年度	平成6年度	差(R6-H6)
男子	幼稚園		5歳	110.5	110.8	△ 0.3	18.9	19.0	△ 0.1
	小学校	1年生	6歳	116.8	116.7	0.1	21.3	21.5	△ 0.2
		2年生	7歳	122.6	122.9	△ 0.3	23.9	24.0	△ 0.1
		3年生	8歳	128.5	128.3	0.2	27.1	27.0	0.1
		4年生	9歳	134.6	133.4	1.2	30.9	29.7	1.2
		5年生	10歳	139.5	138.4	1.1	34.2	33.2	1.0
		6年生	11歳	145.9	144.7	1.2	38.5	37.4	1.1
	中学校	1年生	12歳	153.6	152.3	※1.3	44.3	42.7	※1.6
		2年生	13歳	160.8	159.5	※1.3	49.4	48.3	1.1
		3年生	14歳	166.1	165.2	0.9	54.4	53.5	0.9
	高等学校	1年生	15歳	168.9	169.2	△ 0.3	58.9	59.6	△ 0.7
		2年生	16歳	170.3	170.6	△ 0.3	59.5	60.7	△ 1.2
		3年生	17歳	171.3	171.4	△ 0.1	61.6	62.7	△ 1.1
女子	幼稚園		5歳	109.6	109.6	0.0	18.6	18.7	△ 0.1
	小学校	1年生	6歳	115.8	116.3	△ 0.5	20.9	21.4	△ 0.5
		2年生	7歳	121.7	121.8	△ 0.1	23.5	23.3	0.2
		3年生	8歳	127.6	127.5	0.1	26.3	26.5	△ 0.2
		4年生	9歳	133.9	133.5	0.4	29.9	30.2	△ 0.3
		5年生	10歳	140.7	140.3	0.4	34.0	34.5	△ 0.5
		6年生	11歳	148.0	146.5	※1.5	39.7	38.7	1.0
	中学校	1年生	12歳	152.5	151.9	0.6	43.9	43.6	0.3
		2年生	13歳	155.4	155.1	0.3	47.3	47.3	0.0
		3年生	14歳	156.5	156.9	△ 0.4	49.6	50.3	△ 0.7
	高等学校	1年生	15歳	157.4	157.9	△ 0.5	49.8	52.5	※△ 2.7
		2年生	16歳	157.6	158.1	△ 0.5	52.0	52.8	△ 0.8
		3年生	17歳	158.4	158.4	0.0	52.3	52.9	△ 0.6

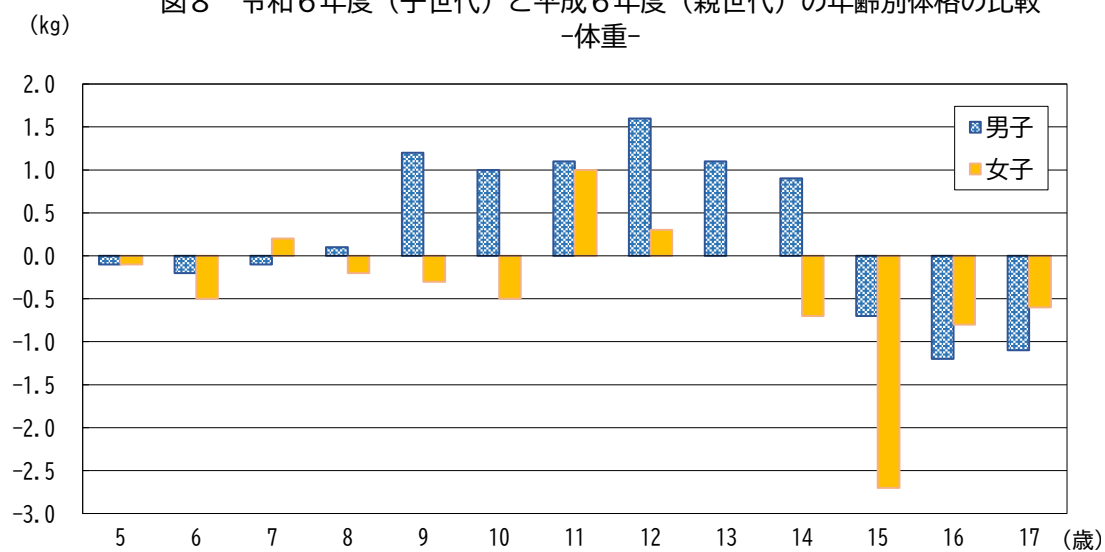
(注) 「※」印は、体格差の最大値を示します。

図7 令和6年度（子世代）と平成6年度（親世代）の年齢別体格の比較
-身長-



(注) 女子の5歳および17歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

図8 令和6年度（子世代）と平成6年度（親世代）の年齢別体格の比較
-体重-



(注) 女子の13歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

③ 11年間（小1～高3）の総発育量の比較（表6、図9、図10）

身長は6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代（令和6年度の調査結果）が親世代（30年前の調査結果）よりも男子は0.8cm少なく、女子は0.2cm少なくなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子は1.6kg、女子は0.8kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、小学校の時期は、男女の身長、体重ともに子世代の方が親世代よりも少なくなっています。中学校・高等学校の時期は、男子は身長、体重ともに子世代が親世代よりも少なくなっています。女子は子世代と親世代で同じ数値となっています。

表6 子世代と親世代の年間発育量

区 分	歳 時	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		子世代		親世代		子世代		親世代	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男 子	6歳（小1）～ 7歳（小2）	5.2		5.7		1.9		2.3	
	7歳（小2）～ 8歳（小3）	6.1		5.5		3.4		2.7	
	8歳（小3）～ 9歳（小4）	5.1	34.8	5.5	34.9	2.8	20.9	3.5	21.8
	9歳（小4）～ 10歳（小5）	5.6		4.8		3.8		3.0	
	10歳（小5）～ 11歳（小6）	6.3		5.8		3.9		4.0	
	11歳（小6）～ 12歳（中1）	6.5		7.6		5.1		6.3	
	12歳（中1）～ 13歳（中2）	9.1		7.8		7.2		5.4	
	13歳（中2）～ 14歳（中3）	4.8		6.3		4.5		5.6	
	14歳（中3）～ 15歳（高1）	2.7	19.5	3.6	20.2	4.3	19.2	5.8	19.9
	15歳（高1）～ 16歳（高2）	1.5		1.8		1.5		2.2	
	16歳（高2）～ 17歳（高3）	1.4		0.7		1.7		0.9	
11年間の総発育量		54.3		55.1		40.1		41.7	
年間発育量の最も大きい年齢		12歳～13歳		12歳～13歳		12歳～13歳		11歳～12歳	
女 子	6歳（小1）～ 7歳（小2）	6.5		5.3		2.7		2.2	
	7歳（小2）～ 8歳（小3）	5.1		6.1		2.6		2.9	
	8歳（小3）～ 9歳（小4）	5.9	36.0	6.1	36.2	3.1	22.2	3.7	23.0
	9歳（小4）～ 10歳（小5）	6.4		6.0		3.7		3.7	
	10歳（小5）～ 11歳（小6）	7.2		7.2		5.7		4.9	
	11歳（小6）～ 12歳（中1）	4.9		5.5		4.4		5.6	
	12歳（中1）～ 13歳（中2）	3.7		3.3		4.5		3.4	
	13歳（中2）～ 14歳（中3）	1.4		2.1		2.3		3.0	
	14歳（中3）～ 15歳（高1）	1.2	6.7	0.8	6.7	1.2	9.4	2.9	9.4
	15歳（高1）～ 16歳（高2）	0.5		0.7		1.3		0.3	
	16歳（高2）～ 17歳（高3）	△ 0.1		△ 0.2		0.1		△ 0.2	
11年間の総発育量		42.7		42.9		31.6		32.4	
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		11歳～12歳	

- （注）・年間発育量とは、身長、体重について1年間に増加した量を言います。例えば、平成18年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成26年度調査の7歳の体格から平成25年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・子世代とは、平成18年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた者で、平成25年度調査の6歳、令和6年度調査の17歳です。
 - ・親世代とは、昭和51年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた者で、昭和58年度調査の6歳、平成6年度調査の17歳です。

図9 令和6年度（子世代）と平成6年度（親世代）の年間発育量の比較
（男子）

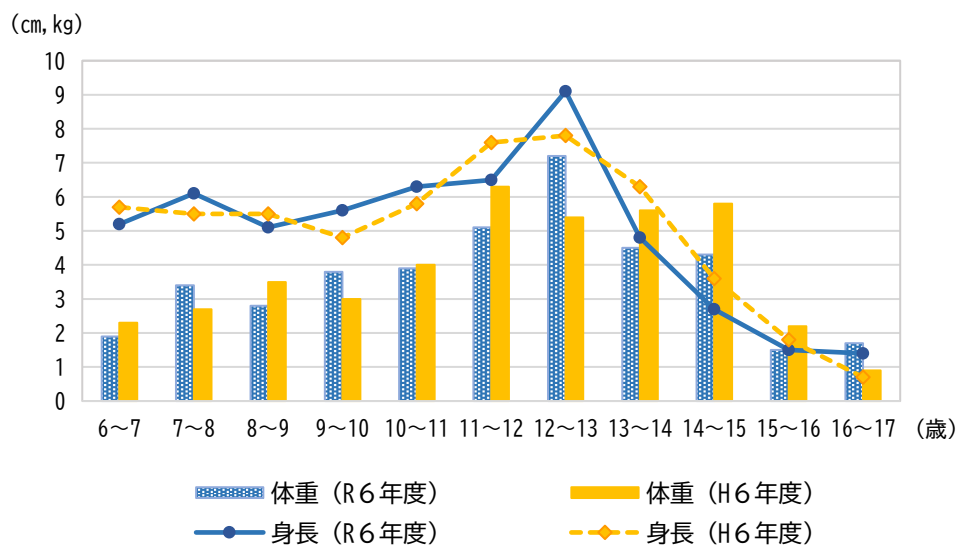


図10 令和6年度（子世代）と平成6年度（親世代）の年間発育量の比較
（女子）

